

東教育財団だより

発行所
公益財団法人
東教育財団
大阪市中央区南本町
2丁目2番11号
堺筋本町西尾ビル6階
電話06(6262)7363
発行責任者 北井保行

コロナ禍もようやく終息の兆しが見えてきたようです。三月二日には「まん延防止等重点措置」の適用も解除となり、大阪府の新規感染者数も、一時増加傾向が見られたものの、五月半ば以降減少傾向にあります。このため、東教育財団では、所要の感染防止措置を講じつつ、令和四年度助成事業を審議する理事会を四月に、また、三年度事業報告及び決算等を審議する理事会を五月に、評議員会を六月に開催しました。

令和四年度の 助成対象事業・助成金額 を決定しました

令和四年度助成事業については、三月二八日に開催された助成金審査会での審議を経て、四月一三日に開催された理事会において、七六件、総額一五、一三五、〇〇〇円の助成を行うことを決定しました。

その概要は次のとおりです。

① 学校教育事業助成

- ・幼稚園 (九件) 一、二六六、〇〇〇円
- ・小学校 (七件) 三、五〇三、〇〇〇円
- ・中学校 (四件) 一、五八六、〇〇〇円
- ・計 (二〇件) 六、三五五、〇〇〇円

② 社会教育・生涯学習事業助成

- ・社会教育 (二〇件) 二、九五〇、〇〇〇円
- ・生涯学習 (五件) 五〇〇、〇〇〇円
- ・計 (二五件) 三、四五〇、〇〇〇円

③ 地域文化・まちづくり事業助成

- ・地域文化 (二六件) 三、三三〇、〇〇〇円
- ・まちづくり (二五件) 二、〇〇〇、〇〇〇円
- ・計 (四一件) 五、三三〇、〇〇〇円

五月理事会・六月評議員会を開催しました

五月二四日に理事会、六月一四日に評議員会を開催し、令和三年度事業報告及び決算を審議のうえ、承認し、合わせて、評議員及び理事の一部選任替えを行いました。



(評議員会会議風景)

令和三年度事業報告

一 助成事業

昨年四月に七七件、総額一四、二二五、〇〇〇円の助成を決定しまし

たが、新型コロナウイルス感染拡大予防措置への対応等により、助成対象事業を中止・変更する団体等があり、その結果、三年度の助成件数・助成金額は、次のとおりとなりました。

① 学校教育事業助成

- ・幼稚園 (九件) 一、三三三、〇〇〇円
- ・小学校 (七件) 二、三九六、〇〇〇円
- ・中学校 (四件) 一、五四六、〇〇〇円
- ・計 (二〇件) 五、二七五、〇〇〇円

② 社会教育・生涯学習事業助成

- ・社会教育 (二〇件) 二、六四〇、〇〇〇円
- ・生涯学習 (五件) 四六〇、〇〇〇円
- ・計 (二五件) 三、一〇〇、〇〇〇円

③ 地域文化・まちづくり事業助成

- ・地域文化 (二二件) 二、七二〇、〇〇〇円
- ・まちづくり (二一件) 一、四七〇、〇〇〇円
- ・計 (三三件) 四、一九〇、〇〇〇円

二 特定費用準備資金

積立金事業

① 校園周年記念特別事業助成積立金(平成三〇年度設定)

令和三年度に同事業を実施した幼稚園・学校分三五〇、〇〇〇円を取り崩しました。

② 外国語対応教育環境充実助成積立金(令和元年度設定)

三年度申請額が計画より一〇三、〇〇〇円減となったため、この助成加算金が不要となり、一方三年度の調査で新たに携帯型翻訳機の追加購入等を希望する幼稚園・学校がありましたので、計画の一部を修正し、三年度に同事業を実施した幼稚園・学校分四二五、〇〇〇円を取り崩しました。

③ 基本財産運用益減収対策積立資金(令和二年度設定)

三年度において、コロナ禍による助成対象事業の中止等で助成金の返還等が発生したことなどにより、収支差額(剰余金)が予算より増加することが見込まれましたので、計画の一部を修正し、三年度剰余金五、九〇〇、〇〇〇円を積み立てました。

三 広報活動

- ① 「財団だより」の発行
- ② 財団ホームページの更新による情報開示

令和三年度決算

◎ 収入(経常収益計)

三三、三三五、二九二円
(前年度比 九八、〇九〇円の増)

・基本財産利息

三三、三三五、二二四円

・受取利息収益

七八円

◎ 費用(経常費用計)

二八、四九〇、二九九円
(前年度比 三二九、六六三円の増)

・事業費計

一八、六四一、三六〇円

(前年度比 二二七、五六一円の増)

・管理費計

九、八四八、九三九円

(前年度比 九一、〇二円の増)

◎ 差引(当期経常増減額)

四、八四四、九九三円

※ 収支相償について

収支相償の判定にあたっては、

特定費用準備資金取崩額は「収入」、同資金への積立額は「費用」とされるので、当期経常増減額

四、八四四、九九三円に、校園周年記念特別事業助成積立金の取崩額三五〇、〇〇〇円を加え、さらに外国語対応教育環境充実助成積立金の取崩額四二五、〇〇〇円を加え、基本財産運用益減収対策積立資金の積立額五、九〇〇、〇〇〇円を引くと、収支相償額は△二八〇、〇〇七円となり、収支相償の基準に適合しています。

評議員の一部改選

この度、東地区の連合振興町会長及び各種団体の東地区代表者の一部に交代がありましたので、評議員の一部選任替えを行いました。

■ 辞任した評議員

濱口 幸太郎

(前久宝連合振興町会長)

山内 英和

(スポーツ推進委員協議会)

■ 新たに選任した評議員



中村 みゆき
スポーツ推進委員

協議会

(濱口評議員の後任の枠は空席とします。)

理事の一部改選

この度、理事を務める開平小学校長及び愛珠幼稚園長が人事異動により交代しましたので、理事の一部選任替えを行いました。

■ 辞任した理事

赤銅 久和(前開平小学校長)

井谷 正美(前愛珠幼稚園長)

■ 新たに選任した理事



岩本 由紀
開平小学校長

大空小学校長



藤岡 裕子
愛珠幼稚園長

↑教育委員会事務局指導部

大阪の街を行く

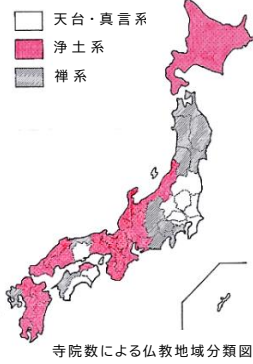
一 名刹めぐり 一

「寺」とは、仏像が安置され、僧や尼が住まいし、仏道の修行や仏事が行われる建物をいう。

文化庁の宗教年鑑(平成二八年版)によると、大阪府にある寺院数は三三九五で、京都府(二、〇七四)や奈良県(一、八一八)を上回り、愛知県(四、五九六)について全国第二位である。大阪府は府域面積が狭小なので、寺院の密度でみると四七都道府県で首位に立つ。

大阪市内には、概ね三割に当たる約一、〇〇〇の寺院があり、残り八割は堺市や東大阪市、八尾市、高槻市など府内に広く分布する。

宗派別寺院数を全国平均でみると、浄土系四割、禅系三割弱、天台・



真言系が二割強、日蓮系が一割弱であるが、大阪府下では寺院総数の七割弱に当たる約二、〇〇〇が浄土系である。

大阪というまちは、豊臣秀吉が築いた大坂城の城下町としてスタートしたと思いがちだが、実は蓮如がつくった寺内町が始まりである。

浄土真宗の八世法主である僧・蓮如は、明応五(一四九六)年に「東生郡(ひがしなりのこうり)生玉(いくたま)之庄内大坂トイフ在所(略)ヲミソメシヨリ(略)一宇ノ坊舎ヲ建立セシメ」た。即ち、大坂本願寺の創建である。

これが現在の大阪というまちの始まりで、蓮如は坊舎の周りを塀で囲んで城塞のまちをつくり、そこを人々に開放し戦乱を避け、仏の加護を受けて平和で豊かに生活ができるようにした。

大阪というまちは蓮如がつくった石山本願寺の寺内町が始まりであり、その宗教都市としての面影が今も寺院の数に色濃く残っている。また、大阪人には明徒(浄土真宗の信者)が多く、大阪人の気質やもの考え方、ひいては、大阪の文化を特徴づけているところがある。

紙幅の許す範囲で、大阪市内の名刹を巡礼した。

太融寺

(北区太融寺町)

高野山真言宗の寺院。弘仁一二(八二二)年、嵯峨天皇の勅願により弘法大師が創建。本尊の千手観世音菩薩は嵯峨天皇の念持仏である。

承和一〇(八四二)年、嵯峨天皇の皇子である左大臣源融(みなもとのとおる)が七堂伽藍を建立し、その際、山号を桂木山とし、源融の諱から寺名を太融寺に改め、鎮守社として神野太神宮(現・綱敷天神社)も創建された。以後、難波の名刹として参詣客で賑った。

南門を入った斜め右方向に「国會期成同盟発祥之地」と刻まれた石碑



が立つ。明治二二(一八九〇)年に国會期成同盟結成大会が開かれ、国会開設のための国民運動の方向が決定。当寺が近代日本政党政治発祥の地であることから、昭和六〇(一九八五)年にこの碑が建てられた。

法善寺

(中央区難波)

浄土宗の寺院。山号は天龍山。本尊は阿弥陀如来。全身が苔むした姿の「水掛不動」が有名である。千日念仏を行ったことから俗に千日寺と

呼ばれ、千日前の地名は当寺の門前に由来する。

当寺院の元は境内だった北側の細い通りは「法善寺横丁」と呼ばれ、



ミナミの繁華街にありながら、静かなななにわ情緒を漂わせている街。看板『法善寺横丁』の文字は、西は藤山寛美、東は三代目桂春団治で、東西に約八〇m延びる横丁内には、老舗の割烹やバー、お好み焼き、串カツ店などがずらり。風情ある石畳に行き交う足音がゴツゴツと鳴り響く。

和光寺

(西区北堀江)

浄土宗の寺院。尼僧が住職を務める。摂津国八十八箇所第三番札所。あみだ池の通称で知られ、大阪市の南北幹線道路の一つである「あみだ池筋」の名称は当寺院に由来する。和光寺の境内北側にある「阿弥陀池」は、仏教伝来の際に百済からもたらされた仏像が排仏により沈められた「難波の堀江」にあたるという伝説がある。(次頁に続く)

四天王寺

(天王寺区四天王寺)



和宗の総本山の寺院。聖徳太子建立
七大寺の一つ。山号は荒陵山(あらは
かさん)、本尊は救世観音。

『日本書紀』によれば、推古天皇元
(五九三年)に造立が始まった。当寺
周辺の区名・駅名などに使われてい
る「天王寺」は四天王寺の略称であ
る。荒陵寺・難波大寺・御津寺・堀
江寺などの別称が伝えられている。

宗派は天台宗に属していた時期も
あったが、元来は特定宗派に偏しな
い八宗兼学の寺で、聖徳太子建立の
寺であるので、既存の仏教の諸宗派
にはこだわらない全宗教的な立場か
ら、昭和二二(一九四六)年に「和宗
の総本山」として独立した。

愛染堂勝鬘院(愛染さん)

(天王寺区夕陽丘町)

和宗の寺院。山号は荒陵山(あらは
かさん)、本尊は愛染明王。

この寺は、聖徳太子が開いた四
箇院(敬田・施薬・療病・悲田)の
うちの施薬院に始まる。施薬院の
本堂に勝鬘夫人の像が祀られ、聖
徳太子が勝鬘経を講じていたこと
から「勝鬘院」とも呼ばれるようにな
った。

平安時代以降は金堂の本尊とし
て愛染明王が祀られるようにな
り、愛染堂とも呼ばれるようにな
った。

境内には、豊臣秀吉が再建した
桃山時代の多宝塔(国の重文)や
「愛染めの霊水」があり、若い女性
に人気がある。また、「愛染まつり」
は大阪の三大夏祭りの一つとして
有名である。

一心寺

(天王寺区逢阪)

浄土宗の寺院。山号は坂松山(ば
んしょうざん)。

文治元(一一八五)年、法然上人
が四天王寺西門の坂の辺に草庵を
結んだのが始まりで、後白河天皇
もこの地で法然と共に日想観の修
行を行った。

一心寺は「骨仏の寺」としても知
られ、納骨堂には人骨でつくられ
た仏像が安置されている。江戸時
代末期から宗派を問わず庶民が納
骨に訪れ、明治二〇(一八八七)年
に約五万体の納骨をもって「お骨

仏」がつくられて以来、一〇年ごとに
一体の仏像をつくることとなり、現在
まで一三体の仏像がつくられ、納骨堂
には戦後の七体が安置されている。

大聖観音寺(あびこ観音)

(住吉区我孫子)

観音宗の総本山の寺院。山号は吾彦
山、本尊は聖観音菩薩。日本最古の観
音菩薩の霊場。

この地の豪族・依網吾彦(よさみの
あびこ)の一族が百済の聖明王から一
寸八分の観音像を贈られ、欽明天皇七
(五四六)年にこの地の人々がその像
を祀る堂を建てた。その後、推古天皇
一四(六〇七)年に聖徳太子がその観
音像を祀る観音寺を建立したとされ
る。江戸時代には境内に三六の支院が
あるほど隆盛を極めるが、明治一四
(一八八二)年の火災で多くの寺宝と
共に焼失した。その後、明治三年に
再建され、復興を果たした。

毎年二月三日の「節分厄除大法会」
には「聖観音が開帳され、厄除開運・
無病息災・所願成就を祈る人々で賑わ
う。

法楽寺

(東住吉区山坂)

真言宗泉涌寺派の大本山の寺院。
山号は紫金山、院号は小松院。本尊は
不動明王。

源平の戦乱で戦死した平家と源氏
の霊を怨親平等に弔うために、源義朝

の念持仏であった如意輪観音菩薩を
安置し、壮麗な伽藍が営まれたことが
起源とされる。

大念仏寺

(平野区平野上町)

融通念仏宗の総本山の寺院。山号は
大源山。大治二(一一二七)年の創建
で、日本最初の念仏道場である。本尊
は十一尊天得如来(融通念仏宗特有の
呼称で、阿弥陀如来と十菩薩の絵像)。
比叡山延暦寺の天台宗祖・良忍が大
治二年に鳥羽上皇の勅願により開創。
融通念仏宗の教えは、一二世紀のキー
ワードである「共生」「共助」の考え方に
も通じる。

全興寺

(平野区平野本町)

高野山真言宗の寺院。山号は野中
山、本尊は薬師如来。平野薬師とも呼
ばれる。

飛鳥時代、聖徳太子が当時野原だつ
たこの地域に仏堂を建て、薬師如来像
を安置したのが起源とされ、この一帯
が杭全荘と呼ばれていたことから「杭
全を興す寺」から全興寺になったとす
る説がある。薬師堂の建立後、周りに
人が住み始め、町が形成されていき、
後の「平野郷」になった。

当寺院には「平野の町づくりを考え
る会」の事務局が置かれ、平野町ぐる
み博物館を含め様々な町おこし活動
が行われている。

(槇野 勝・記)